

の段、出産・子育て応援交付金事業についてですが、2億593万5,000円を計上しております。これは、国が令和4年度第2次補正予算で全ての市町村で実施するために創設された交付金を活用する事業でございます。本事業は、全ての妊婦、子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境整備を行うために、妊娠期から出産・子育てまで身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型相談支援を行うとともに、出産・育児関連用品の購入や子育て支援サービスの利用等における負担軽減を図る経済的支援を一体として実施する事業でございます。令和4年4月以降に出産された全ての方を対象とし、妊娠届出後及び出生届出後にそれぞれ5万円ずつ、計10万円を現金支給するものでございます。予算の内訳は、経済的支援につきましては、令和4年4月から令和5年9月までに産まれた方に対する給付費として1億8,620万円を、伴走型相談支援につきましては、保健師等の人件費、システム構築経費等の事務費として1,973万5,000円を計上しております。

続いて、令和4年度米子市補正予算書を御覧ください。22ページをお開きください。繰越明許費に関する調書（補正第1回）の一番上の項目ですが、出産・子育て応援交付金事業費につきましては、国の補正予算に連動して実施するものであり、年度内の事業完了が見込めないことから、確実に年度内の支出が見込まれるものを除いた2億357万2,000円を繰越明許費として計上しております。説明は以上でございます。

○土光分科会長 当局の説明は終わりました。

委員の皆様からの御意見、御質問を求めます。

吉岡委員。

○吉岡委員 全ての妊婦さんが米子市とちゃんとつながれるということにつながる制度で、大変いいと思うんですが、まず妊娠届を出していただかないことにはどうにもならないと思うのです。御自分で出されない方とか、来庁が難しくて妊娠届が出せない方を取りこぼしなく制度につなげるような取組というのは、何か考えておられますか。

○土光分科会長 瀬尻総本部次長。

○瀬尻こども総本部次長兼こども相談課長 基本的には妊娠届を出されるときに母子手帳交付ということではしていただくんですが、その取りこぼしがないように医療機関と連携をして、支給のほうにつなげていきたいと思っております。

○土光分科会長 吉岡委員。

○吉岡委員 医療機関から、妊娠された方が全て市に報告されるということですか。

○土光分科会長 川上こども相談課長補佐

○川上こども相談課長補佐兼発達支援担当課長補佐 医療機関から出産される方については御連絡があると思うんですが、まだ迷っていらっしゃるような段階であれば、市町村のほうで支援の必要がある方については、連絡があるというふうに考えております。

○土光分科会長 吉岡委員。

○吉岡委員 迷っていて、支援の必要がある方は連絡がある。全ての妊娠した方が連絡があるというわけではない。ちょっと分かりませんでした。

○土光分科会長 川上課長補佐。

○川上こども相談課長補佐兼発達支援担当課長補佐 全ての妊婦さんの連絡があるわけではないです。妊娠・出産を希望される方は、母子手帳を発行しますので、安定期に入ら

れた段階で医療機関から、母子手帳を市町村でもらってくださいという形で妊婦さんに連絡があります。

○土光分科会長 吉岡委員。

○吉岡委員 病院に行かないと妊娠したことが分からないというわけではないので、妊娠が分かった人、迷っておられる方、その時に困っておられる方こそ市とつながらないといけないのかなと思いますので、その辺りもつながれるような方法を考えていただけたらなと思います。

○土光分科会長 瀬尻次長。

○瀬尻こども総本部次長兼こども相談課長 そういった市につながらない方に関しましては、広報等により周知・啓発していきたいと思っております。

○土光分科会長 伊澤副市長。

○伊澤副市長 私のほうが少し補足させていただきます。

委員のお考えは、お考えとして理解できるんですけど、例えば医療機関にもかからず、今、妊娠検査薬等で妊娠の判定ができますので、それが望む妊娠なのか、望まない妊娠なのか様々なケースがあると思います。仮に望んだ妊娠だとしても出産までこぎつけられるかどうかということは、様々な事情の中で最終的には御判断されることだと思っております。

正直に言いますと、それを全て妊娠の初期段階から市が把握するということは困難です。現実にはできません。御本人が言わなければ、周りは誰も分からない。そういう妊娠された女性の方を全て補足するということは、不可能だということは御理解いただきたいと思います。ただ、委員の御趣旨は、そういった中で何らかの支援を求めておられる、あるいは様々な困難な状況の中で迷っておられる方に手を差し伸べられるような体制を作っていたきたいという御趣旨でしょうから、今回お諮りしている事業に限らずこれまでも様々なそういった相談窓口、あるいは妊娠・出産に係る啓発を通じてやってきております。

今回は国を挙げて全ての妊産婦を支援していこうという事業が始まります。実は伴走型の支援というのは、米子市は既にやっております、全くさらから始めるわけでも何でもないんです。逆に言いますと、やっていることを国が求める形に当てはめていって、さらに足らざるところは埋めていくというようなことをやっていくわけですが、そういった取組の中で、これまで以上にできるだけ望む方には伴走していくような体制をとってきたい。それを委員さんは御要請しておられると思いますので、その要請の趣旨は分かりますので、この取組をやる中でこれまでの取組をさらにブラッシュアップしていきたいとこのように思います。

○土光分科会長 吉岡委員。

○吉岡委員 やはり5万円というのが、非常にインセンティブになると思います。つながりたくないとかいう人もこれでつながるのかなと思ったので、その辺りうまく利用していただけたらと思います。

あと、妊娠届というのは台帳だけなんですかね。できれば、鳥取電子申請サービスなどを使って、来庁が難しい方も速やかに届け出ができる体制も併せて整えていただけたらと思います。よろしくお願いします。

○土光分科会長 ほかにありませんか。

安達委員。

○**安達委員** 全ての支援をもれなくという説明があったと思うんですが、例えば出産を県外で、実家とかでというのがあられると思うんですよね。そういう方が県外で出産される、そういった方にいわゆる伴走型のすべてを支援したいというのは、どのような内容をされるのかイメージがわからないので教えてもらえませんか。

○**土光分科会長** 瀬尻 こども総本部次長

○**瀬尻 こども総本部次長兼 こども相談課長** 県外で生まれた方の支援ということですが、けれども、実際、里帰りして帰られた方に関しましては、基本的には里帰り先の市町村のほうに依頼をして面談等を実施していただき、帰られた時の引継ぎの形を取りまして、支援を行っていきたいと思っております。

○**土光分科会長** 安達委員。

○**安達委員** 面談というのは、県外に出られる前に本人と出合って支援の中身とかを相談しながら支援していくということですか。生まれてからどのような支援するのかなと思って聞いているところなんです。

○**土光分科会長** 川上課長補佐。

○**川上 こども相談課長補佐兼 発達支援担当課長補佐** 伴走型相談支援についてですが、既に実施しているところでございます。妊娠届出時に母子手帳を交付する際に保健師等々と面談してアンケートに回答、それから子育てサポートプランを活用して妊娠時の過ごし方、子育てサービス等の案内をしております。ハイリスク妊婦には、医療機関や関係課とも連携し、妊娠・出産、子育てと切れ目なく支援を行っております。

出産後は、地区担当保健師や母子保健推進員が赤ちゃん訪問等を実施しております。

新たな支援としましては、マンパワーを投入して妊娠8か月頃に全ての妊婦さんへアンケートを送付し、出産に向けて気になることはないか、出産後の支援者の有無等を尋ねて面談希望のある方には、出産・育児等の見通しと一緒に確認して不安を軽減するため支援を行っているところでございます。

○**土光分科会長** 景山 こども総本部長。

○**景山 こども総本部長** 御質問は県外出産をされた後と思います。

先ほど冒頭に答弁もありましたけれども、この制度に限らず既にやっております。必要に応じまして御本人のお気持ちなどを確認して、県外の当該自治体の保健師などにつないでそばに常にいる保健師が帰ってこられるまでの間、伴走型の支援を行っている。これは今までもやっておりますので、今後も引き続きということでございます。

○**土光分科会長** ほかにございませんか。

〔「なし」という声あり〕

○**土光分科会長** ないようですので、本件については終了いたします。

予算決算委員会民生教育分科会を暫時休憩いたします。

午前11時26分 休憩

午前11時27分 再開

○**土光分科会長** 予算決算委員会民生教育分科会を再開いたします。

予算に係る分科会長報告のための意見の取りまとめを行います。

報告に入れる意見につきまして、委員の皆様の御意見を求めます。

〔「なし」という声あり〕

○土光分科会長 特にないようですので、特になかった旨報告させていただきます。

以上で予算決算委員会民生教育分科会を閉会いたします。

午前 11 時 27 分 閉会

米子市議会委員会条例第 29 条第 1 項の規定により署名する。

予算決算委員会民生教育分科会長 土 光 均